

ごあいさつ

公益財団法人日本中国国際教育交流協会

代表理事 中村 武志

公益財団法人日本中国国際教育交流協会の事業に対しまして、多くの方々より励ましやご支援を賜り御礼申し上げます。

私どもはこれまで主に日中間の「草の根的教育交流」を展開してまいりました。人と人との地道な交流は、国家間の政治・経済関係がどのような状況であろうとも可能であり、子どもたちの今と未来を語り合うことは、国の違いを越えた信頼関係の醸成につながるとの考えに基づくものであります。その営みは、国際社会の流れから見れば文字通り微々たる歩みですが、わずかずつでも確実に前進してきたと感じてきたところです。

一方、世界的なコロナウイルス感染拡大に伴う移動の制限・自粛により、活動が思うに任せない状況にあります。しかし、立ち止まっているわけにもいきません。コロナ禍の中、学校教育の維持・向上のために何をしてきたか、厳しい状況に立たされた子どもたちに何をなすべきなのか等々、国を越えての交流・議論は大切です。このような営みは信頼関係のさらなる醸成や「子どもたちの笑顔」につながってくでしょう。

厳しい状況だからこそ、「今を生きる者には未来を変える資格と責任がある」という信念のもと、知恵を集め工夫を凝らし活動を展開している所存です。今後とも変わらぬご支援を深甚よりお願い申し上げます。